



国連大学/ユネスコ国際会議で アフリカの過去と未来を重点的に考える

- イベント： 2009年国連大学/ユネスコ国際会議
「アフリカとグローバリゼーション：過去から学び、未来に生かす」
- 開催日： 2009年9月28日（月）、29日（火）
- 場所： 国連大学本部（渋谷区）
- 主催： 国連大学、国連教育科学文化機関（ユネスコ）
- ウェブサイト： <http://www.unu.edu/globalization/>

「グローバリゼーションは一方通行で、アフリカにはほとんど益をもたらさなかった…」。
2003年に東京の国連大学本部で開かれたウ・タント記念講演で、ジミー・カーター元米国大統領はこのように述べている。果たして、6年後の今、状況は変化しただろうか。変化していなければ、国際社会は、不平等をなくし、アフリカが国連ミレニアム開発目標(MDGs)の達成の土台を作るために何をすればいいのだろうか。

2009年 国連大学/ユネスコ国際会議「アフリカとグローバリゼーション」は、過去半世紀におけるアフリカの業績、成功、失敗を評価し、グローバル化した今日の世界、特に金融危機という現状において、アフリカとのその開発が直面している様々な問題を考える。

2日間の会議期間中、元国家元首を含めた政府の意思決定者、世界的に有名な専門家、市民団体の代表者など、主導的立場にある約30名の方々が個人的体験談を語るとともに、これまでの開発状況、現在の新たな動きと将来への影響について意見を交換する。また将来のグローバル・システムにおけるアフリカの役割と立場について、展望を語り合う。

- 会議1日目は「アフリカの将来像を描く」というテーマについての3つのセッションを行う。
 - ▶ 第1セッション「リーダーシップ・フォーラム」では、元国家元首やその他著名人の方々が、これまでの教訓や過去の開発状況に関する経験や業績、最近の金融危機の影響などをもとに、アフリカの将来について語る。数カ国の大統領経験者によって基調講演が行われる。
 - オルシェゲン・オバサンジョ氏（前ナイジェリア大統領）
 - ジョン・コフィ・アジェクム・クフォー氏（元ガーナ大統領）
 - アルファ・ウマル・コナレ氏（アフリカ連合委員会元委員長、元マリ大統領）
 - サム・ヌヨマ氏（ナミビア共和国初代大統領）
 - アントニオ・ラマルホ・エアネス氏（元ポルトガル大統領）
 - ▶ 第2セッション「ビジョンの実践」では、講演者が自分自身の経験と専門知識をもとに、そのビジョンを実践に移すための方法や問題点について具体的な提案を行う。
 - ▶ 第3セッション「リーダーとの対話」では、先の2つのセッションの講演者がアフリカの将来についての考えや視点を活発に交換する。

- 会議 2 日目は 2 つのフォーカスセッションと総括セッションを行う。
 - 第 1 フォーカスセッション「アフリカと統治：社会政治的な結束の向上」では、アフリカの統治を強化するための新たな方法を模索する。
 - 第 2 セッション「アフリカと持続可能な開発」では、持続可能な開発のための教育、科学技術やイノベーションの能力の育成、環境関連の技術や仕事の開発など、アフリカの持続可能な開発の根幹となる問題について話し合う。
 - 総括セッション「アフリカのビジョン」では、会議の重要ポイントと成果をまとめ、総括を行う。

- 日英仏の同時通訳あり。
- 本会議の全講演者名やその他の情報を記載した仮プログラムは、本会議のウェブサイト (<http://www.unu.edu/globalization/>) で閲覧可能。
- 参加できない方のためにウェブキャスト <http://c3.unu.edu/unuvideo/?244> でもライブにて閲覧可能（後日閲覧も可）。

本会議の取材に関する連絡先：

国連大学広報部、担当：谷野（やの）または、牧
(TEL:03-5467-1212、e-mail: media@unu.edu)

1975 年に開設した日本に本部組織を持つ唯一の国連機関。世界各地に広がる研究所や研修センターのネットワークとして学術活動を展開しており、東京の国連大学本部はその調整役を務めている。本部にはサステイナビリティと平和研究所 (UNU-ISP) が、横浜には高等研究所 (UNU-IAS) が設置されている。
